

白山砂防防災センター 白山砂防科学館

白山砂防科学館は、白山の砂防や自然について広く一般の方に知ってもらうための施設であるほか、手取川上流で観測されている地すべり変位量や映像などのデータを光ケーブルで伝送し、通年リアルタイムでの監視が可能となっている。防災情報の集中管理と発信の拠点でもある。



白山に設置されたさまざまな防災機器情報をリアルタイムで表示
最新の気象情報や雨量情報、防災カメラ映像などが見られる

展示物の一つである昭和9年7月の手取川大洪水で流されてきた百万貫の岩の1/2サイズの模型の中はミニシアターとなっていて、3D映画「百万貫の岩は語る」のほか、白山や防災に関する映画を上映している。

さらに、白山の標高1,600～2,100m地帯で発生している大規模な地すべりを、パネルと模型で解説しており、地すべりのメカニズムを学ぶことができる。

このような展示に加えて、白山に設置されたさまざまな防災機器情報をリアルタイムで表示し、最新の気象情報や雨量情報、防災カメラ映像などが見られるなど、白山の砂防・防災への理解を深めることができるようになっている。

館内は、<生きている白山ゾーン>、<人と白山ゾーン>、<情報ラウンジ>、<白山の驚異と人間の知恵ゾーン>にわかれている。<人と白山ゾーン>では、実際の砂防工事で使われていた岩を運び、「モッコ」を担いでの砂防工事体験ができる。



砂防や防災に関するクイズを出題 全問正解すると認定書がもらえる



定員21名のミニシアター
3D映画「百万貫の岩は語る」のほか、白山や防災に関する映画を上映

白山砂防科学館

〒920-2501 石川県白山市白峰ツ40-1

TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991